

CIGS・EHESS日仏財団共催 国際シンポジウム『新たなグローバル経済秩序に向かってー企業、被雇用者、政府へのインパクトー』



The Canon Institute for Global Studies

協賛

フランス銀行、在日フランス大使館、フリードリヒ・エーベルト財団、フランス社会科学高等研究院 (EHESS)、日本経済新聞社、ローランド・ベルガー・ストラテジー・コンサルタンツ



シンポジウム開催の趣旨

グローバルな経済危機後に、TPP、日EU FTA、米EU FTAなど、数多くの地域自由貿易協定 (FTAs) 交渉が推進されている。これらは、従前の二国間のFTA交渉の延長線上にあるだけでなく、広くWTOによって規定された自由貿易の枠組みにおいて交渉されている。これらFTAsは、その規模と包括的な性質だけでなく、新たな国際分業を規定するという意味でも、画期的なものである。

この国際シンポジウムでは、日本と欧州の経済トレンドの見通しを、企業、被雇用者、政府の立場から分析する。上記のようなメガリージョナルなFTAsのもたらす経済環境の変化により、企業は、大きなメリットを受けるが、被雇用者の不安や懸念を無視することはできない。このような変化は、所得分配に非対称なインパクトを与えるかもしれないからである。また、国際貿易と国際投資のこのような新しい状況は、マクロ・ミクロレベルでの国内政策に何らかの意味をもたらすだけでなく、国際的な政策の調整にも影響を与えるかもしれない。

以上のような今日的な問題について、日仏独3国の学者、企業人、政策当局者が東京で議論する。

開催概要

日 時: 2014年7月15日 (火) 13:30 - 18:10
会 場: [東京大学 伊藤謝恩ホール](#) (東京都文京区本郷7-3-1)
参加費: 無料
定 員: 400名
言 語: 英語 (同時通訳あり)

主催

キャンングローバル戦略研究所 (CIGS)、[フランス国立社会科学高等研究院 日仏財団 \(EHESS Paris 日仏財団\)](#)

講演者 (登壇順)

欧州側:

- 濱田いずみ (フィリップス・エレクトロニクス・ジャパン ガバメントアフェアーズ部 部長)
- マーティン・トンコ (ローランド・ベルガー・ストラテジー・コンサルタンツ パートナー)
- フランツ・ヴァルデンベルガー (ルートヴィヒ・マキシミリアン大学 (ミュンヘン)、ドイツ日本研究所)
- セバスチャン・ルシュバリエ (EHESS Paris 日仏財団 創業者、EHESS 准教授)
- アンヌ・ル・ロリエ (フランス銀行 第一副総裁)
- アンドレアス・ドンブレット (ドイツ連邦銀行 理事)
- クリスチャン・マセ (駐日フランス大使)

日本側:

福井俊彦(キャノングローバル戦略研究所 理事長)

鶴岡公二(内閣官房内閣審議官兼TPP政府対策本部首席交渉官)

滝田洋一(日本経済新聞 編集委員)

日下一正(国際経済交流財団 会長、キャノングローバル戦略研究所 アドバイザー)

藤森義明(LIXIL 代表取締役社長兼CEO)

木村福成(慶応義塾大学 教授、東アジア・アセアン経済研究センター チーフ・エコノミスト)

鶴光太郎(慶応義塾大学 教授)

堀井昭成(キャノングローバル戦略研究所 理事・特別顧問)

古澤満宏(財務省 顧問、内閣官房 参与)

吉川洋(東京大学 教授、キャノングローバル戦略研究所 アドバイザー)

プログラム

13:30 - 13:45	開会挨拶 キャノングローバル戦略研究所 理事長 福井俊彦
13:45 - 14:30	基調講演 鶴岡公二(内閣官房内閣審議官兼TPP政府対策本部首席交渉官)
14:30 - 14:40	休憩(10分)
14:40 - 15:40	ラウンドテーブル1:企業にとっての利益とリスクとは? TPP、日EU FTAなどの新たな国際貿易枠組から、企業はどのような利益を得るのか?またどのようなリスクに直面するのか? モデレーター:滝田洋一(日本経済新聞 編集委員) 日本:藤森義明(LIXIL 代表取締役社長兼CEO) 日下一正(国際経済交流財団 会長、キャノングローバル戦略研究所 アドバイザー) 欧州:濱田いずみ(フィリップス・エレクトロニクス・ジャパン ガバメントアフェアーズ部 部長) マーティン・トンコ(ローランド・ベルガー・ストラテジー・コンサルタンツ パートナー)
15:40 - 15:50	休憩(10分)
15:50 - 16:50	ラウンドテーブル2:被雇用者は新たなグローバル経済秩序について懸念すべきなのか? 新たなグローバル経済秩序は、先進国および新興国の労働市場において、どのような意味を持つのか? モデレーター:フランツ・ヴァルデンベルガー(ルートヴィヒ・マキシミリアン大学(ミュンヘン)、ドイツ日本研究所) 日本:木村福成(慶応義塾大学 教授、東アジア・アセアン経済研究センター チーフ・エコノミスト) 鶴光太郎(慶応義塾大学 教授) 欧州:セバスチャン・ルシュバリエ(EHESS Paris 日仏財団 創業者、EHESS 准教授)
16:50 - 17:00	休憩(10分)
	ラウンドテーブル3:経済政策の原則は何か?その自由度は? よりよい世界経済秩序のための政策パネル:国際通貨システム、競争政策、財政政策、税体系などへの含意を議論する。

17:00 - 18:00	モデレーター: 堀井昭成(キャノングローバル戦略研究所 理事・特別顧問) 日本: 古澤満宏(財務省 顧問、内閣官房 参与) 吉川洋(東京大学 教授、キャノングローバル戦略研究所 アドバイザー) 欧州: アンヌ・ル・ロリエ(フランス銀行 第一副総裁) アンドレアス・ドンブレット(ドイツ連邦銀行 理事)
18:00 - 18:10	閉会の辞 クリスチャン・マセ(駐日フランス大使)